



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社 鶴見製作所  
 コード番号 6351 URL <https://www.tsurumipump.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 辻本 治  
 (氏名) 敦賀 啓一郎 TEL 06-6911-2350  
 配当支払開始予定日 2022年12月12日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	26,086	17.8	2,567	6.0	5,049	73.2	3,258	57.6
2022年3月期第2四半期	22,151	9.5	2,421	9.9	2,915	14.4	2,068	14.5

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 5,599百万円 (107.0%) 2022年3月期第2四半期 2,705百万円 (10.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	131.80	—
2022年3月期第2四半期	82.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	91,198	76,701	82.8
2022年3月期	87,299	71,848	81.1

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 75,485百万円 2022年3月期 70,833百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	17.00	—	23.00	40.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	22.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当 18円00銭 記念配当 2円00銭  
 台湾工場の創業25周年と年間生産台数40万台突破を記念し、記念配当を実施致します。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	7.4	5,700	3.5	7,500	1.8	4,900	1.7	198.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	27,500,000 株	2022年3月期	27,500,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	2,822,860 株	2022年3月期	2,574,311 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	24,721,396 株	2022年3月期2Q	25,038,050 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結範囲の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の各種対策によりやや持ち直しの傾向がみられるものの、世界的な金融引き締めや急激な為替レートの変動による物価上昇などの要因により、国内の生産や輸出入に大きな影響を及ぼし、景気の先行きは依然として厳しい環境にあります。また世界経済におきましても、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の上昇やサプライチェーンの混乱が継続するなど景気減速に対する警戒感は強まり、今後も予断を許さない状況となっております。

このような状況の中で当社グループは、国内部門では、建設機械市場におきましては、レンタル業界向けに、環境に配慮した電極式水中ポンプや高圧洗浄機の売上が好調に推移しました。設備機器市場におきましては、工具工場設備市場向けの需要回復が見られ、また官公庁向けの豪雨対策等のインフラ整備関連事業の受注が拡大しました。

海外部門では、北米市場をはじめとして引き続き建設、鉱山市場で活発な需要が続きました。北米市場におきましては、インフレの急伸やFRBによる金利引き上げ等により需要の低迷や買い控えの懸念はありますが、鉱山市場、建設市場は引き続き活況であり受注は好調に推移しました。

アジア市場におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束傾向を受け、インフラ設備市場での需要は引き続き増加傾向にあります。特に香港、シンガポールを中心とした建設市場と設備市場での受注や台湾における設備市場での受注が好調に推移し、売上高は増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,086百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ3,934百万円(17.8%)の増収、営業利益は原材料価格や物流費の高騰などもあり2,567百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ146百万円(6.0%)の増益、経常利益は円安に伴い当第2四半期連結累計期間において為替差益2,106百万円を計上したこと等により5,049百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ2,133百万円(73.2%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,258百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1,190百万円(57.6%)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は91,198百万円と前連結会計年度末に比べ3,898百万円増加しました。

これは、主に現金及び預金が3,287百万円、棚卸資産が3,921百万円、イタリアの関連会社株式の取得等により投資有価証券が1,106百万円それぞれ増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が4,522百万円減少したことによるものであります。その他、連結範囲の変更に伴い、有形固定資産が1,589百万円、無形固定資産が622百万円それぞれ増加し、貸付金の減少により流動資産のその他が1,313百万円、固定資産の投資その他の資産のその他が768百万円それぞれ減少しております。

負債につきましては、14,496百万円と前連結会計年度末に比べ955百万円減少しました。

これは、支払手形及び買掛金が1,226百万円、賞与引当金が314百万円それぞれ減少し、訴訟損失引当金が289百万円、前受金の増加等により流動負債のその他が281百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、76,701百万円と前連結会計年度末に比べ4,853百万円増加しました。

これは、利益剰余金が2,723百万円、為替換算調整勘定が2,505百万円それぞれ増加したほか、自己株式462百万円を取得したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は82.8%(前連結会計年度末81.1%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な金融引き締めや急激な為替レートの変動による物価上昇、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の上昇やサプライチェーンの混乱などが、日本経済そして世界経済に多大な影響を及ぼすことが懸念され、景気の先行きが不透明な状況は今後一定期間は継続するものと予想されます。

そのような状況の中、当社グループは社会インフラに直結した製品を提供していること、また異常気象等に伴う災害から国民生活を守るための製品を提供していることなどもあり、新型コロナウイルス感染症による影響は現状では軽微であると考えております。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に発表した通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2022年11月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後も当社グループ製品が社会インフラ基盤に対して必要不可欠なものであるという責任を十分に踏まえた上で、万全な体制で製品を供給し続けることができるよう努めてまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,484	17,771
受取手形、売掛金及び契約資産	20,697	16,174
有価証券	1,701	1,675
棚卸資産	13,131	17,052
その他	2,962	1,648
貸倒引当金	△37	△33
流動資産合計	52,940	54,288
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,302	8,629
その他(純額)	7,565	8,828
有形固定資産合計	15,868	17,458
無形固定資産		
1,481		2,104
投資その他の資産		
投資有価証券	13,893	15,000
その他	3,271	2,503
貸倒引当金	△2	△2
投資損失引当金	△154	△154
投資その他の資産合計	17,009	17,347
固定資産合計	34,359	36,909
資産合計	87,299	91,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,168	5,941
未払法人税等	1,274	1,406
賞与引当金	1,129	814
訴訟損失引当金	—	289
その他	3,145	3,426
流動負債合計	12,717	11,878
固定負債		
長期借入金	2,100	2,106
役員退職慰労引当金	210	192
退職給付に係る負債	127	115
その他	296	202
固定負債合計	2,733	2,617
負債合計	15,451	14,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,810	8,028
利益剰余金	55,957	58,681
自己株式	△2,321	△2,783
株主資本合計	66,634	69,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,652	1,351
為替換算調整勘定	2,482	4,988
退職給付に係る調整累計額	63	30
その他の包括利益累計額合計	4,198	6,370
非支配株主持分	1,015	1,216
純資産合計	71,848	76,701
負債純資産合計	87,299	91,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	22,151	26,086
売上原価	14,714	17,370
売上総利益	7,436	8,716
販売費及び一般管理費	5,015	6,149
営業利益	2,421	2,567
営業外収益		
受取利息	124	133
受取配当金	116	133
為替差益	117	2,106
その他	147	200
営業外収益合計	505	2,575
営業外費用		
支払利息	5	2
有価証券運用損	—	76
その他	4	14
営業外費用合計	10	93
経常利益	2,915	5,049
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	—	289
特別損失合計	—	289
税金等調整前四半期純利益	2,915	4,759
法人税、住民税及び事業税	735	1,424
法人税等調整額	87	35
法人税等合計	823	1,459
四半期純利益	2,092	3,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,068	3,258

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,092	3,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	△301
為替換算調整勘定	483	2,632
退職給付に係る調整額	5	△32
その他の包括利益合計	612	2,298
四半期包括利益	2,705	5,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,613	5,430
非支配株主に係る四半期包括利益	91	168



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、TSURUMI PUMP (THAILAND) CO., LTD.、TSURUMI PUMP VIETNAM CO., LTD. (特定子会社) 及び株式会社テクノロジーサービス北條を連結の範囲に含めております。